

## あの日から4年 思いを胸に祈り

東日本大震災四周年 千葉県・旭市合同追悼式など



①手を合わせる参列者(合同追悼式)  
②震災での実話を基にした紙芝居を披露(語り継ぐ集い)

市内での死者・行方不明者は16人にも上り、未曾有の大災害となった東日本大震災から4年。県と市の合同追悼式が3月11日、いいおかユートピアセンターで行われました。式では、遺族や関係者221人が参列し黙とうなどをささげたほか、飯岡中の生徒が作文を朗読。現在植栽ボランティアに参加しているといい「震災の傷跡が、まだあちらこちらに残っています。元の明るい街に戻るお手伝いできれば」などと、読み上げていました。

また市民団体が「旭・いいおか津波を語り継ぐ集い」を開催。代表者は「震災の教訓を後世に継ぎ、二度と犠牲が出ないようにしたい」と話していました。

## 旭市津波避難訓練

## 津波から身を守るために

津波の浸水想定区域とその隣接区域を対象に3月8日、津波避難訓練が実施されました。訓練は房総沖を震源とした大地震が発生し、大津波警報が発表され、30分後に高さ10mの大津波が襲来することを想定。避難指示が出されると、参加した地区住民は、市内小学校や津波避難タワー、高台など23か所の津波避難場所に避難しました。また要援護者を迅速に避難させる手段として、リヤカーを使った避難訓練も行われました。



①リヤカーを使って飯岡小に避難する参加者  
②避難階段で富浦小の校舎屋上に避難する参加者

2  
22

## 約700人が参加！ 飯岡地域で「宝探し」



隠し場所を巡る参加者たち

隠された宝箱のキーワードを集めると、抽選で商品が当たるイベント「リアル宝探し」が飯岡地域で開催。市内外から約700人の参加がありました。参加者たちは、ヒントが書かれた地図を手に隠し場所を巡り、宝箱を見つけると笑顔で走り寄って、キーワードを書き留めていました。

3  
1

## 元気でいるための口の健康説く



講演する柴原主任教授

旭市歯と口腔<sup>こうくう</sup>の健康づくり推進条例の制定を記念した、市民公開講座が東総文化会館で開催。東京歯科大学口腔外科学講座、柴原孝彦主任教授の講演が行われました。柴原主任

教授は「健康であるにはかむことが大事」「虫歯などがあると舌や頬を傷つけ病気につながる」などと話していました。

3  
4

## ポスターで防火意識を呼び掛ける



(後列左から)磯村くん、伊藤さん (前列左から)堀江さん、新居くん

広く防火を呼び掛けようとしている、市内小中学生による防火ポスター展。各学校から選出された201点の中から最優秀作品(旭市長賞)に輝いた、新居瑠偉くん(嚶鳴小・4年)、堀江美琴さん(萬

歳小・5年)、伊藤花音さん(飯岡中・1年)、磯村春幸くん(飯岡中・2年)に賞状が贈られました。

3  
14

## 子どもたちが社会貢献活動の成果を報告



報告を行う二中の生徒たち

市内小中学生の社会貢献活動に助成金を提供し、学びの支援を行う旭・学び助成金(旭35)。その活動報告会が東総文化会館で開催されました。活動の成果を発表したのは中央小、干潟小、嚶鳴小、二中、海上中の子どもたち。報告後に来場者から寄せられる質問にも、堂々と答える発表者の姿がありました。

## 旭市海岸減災林3,000本植樹祭

## 「未来を守る減災林」みんなの手で

津波被害を軽減する減災林を造ろうと3月8日、約600人が参加して、クロマツなど9種類の苗木3,000本が植えられました。植樹をした場所は、東日本大震災で津波被害を受けた平松地先の海岸。子どもの手を引き参加したある家族は「当時近くに住んでいて、おなかの中にはこの子がいました。子どもに飯岡や震災のことを伝えたくて」と、苗木を植えていました。

なお今回は試験植樹。今後は生育状況を観察しながら適性樹木を見極め、海岸線に減災林を増やしていく予定です。



防潮堤の盛り土部に、多くの人の手で植樹される

## 滝郷生き生きふれあいまつり

## つばきのうみ 椿湖干拓記念イベントが初開催！ にぎわう会場

椿湖干拓345年を記念し、滝郷生き生きふれあいまつりが3月15日、清滝のため池脇に設けられた特設会場で開催。干拓の歴史を紹介する記念講演、高生つばき会によるお囃子のほか、舞踊やカラオケのステージなども行われ、多くの来場者でにぎわっていました。またこの日は、旭市観光大使で演歌歌手の椎名佐千子さんが特別ゲストで登場。横断幕による応援が行われるなど、会場はさらに盛り上がりを見せていました。



高生つばき会によるお囃子の披露